

1日目 8月19日金

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
9:00							
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00	大会長講演 AI時代の ウェルビーイング						
14:45	1P1-A	1P1-B	1P1-C	1P1-D	1P1-E	1P1-F	1P1-G
15:00	OS-14 ニューロ リハビリテー ションと工学 1	OS-27 共食の デザイン	OS-01 医療福祉 ロボット	OS-02 ヒューマン インタ フェース	OS-23 生体流体 工学	GS-01 転倒と 姿勢制御	GS-02 乳幼児と 保育
16:00							
17:00	1P2-A	1P2-B	1P2-C	1P2-D	1P2-E	1P2-F	1P2-G
18:00	OS-14 ニューロ リハビリテー ションと工学 2	OS-06 人を対象とし た研究にお けるデータの 収集、解釈、 共有	GS-03 支援機器・ スポーツ用具 の評価	GS-04 コミュニケー ション	GS-05 人工臓器・ 生体模擬 環境	GS-06 触覚・聴覚	GS-07 計測
19:00							

2日目 8月20日(土)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
8:30	2A1-A	2A1-B	2A1-C	2A1-D	2A1-E	2A1-F
9:00	OS-32 パラマウントベッド(株) 協賛セッション： 福祉用具の エビデンス	OS-26 支援機器の ヒューマン セントリック デザイン 1	OS-24 医療・介護・ 福祉分野に おけるデジタル 技術の浸透 1	OS-08 バイオフィード バック・リハビ リテーションを 容易に実現する 支援技術 / 環境	OS-20 義肢装具の 適合性評価 技術	OS-29 日本生活支援 工学会倫理審 査委員会の 12年
10:00						
10:15	2A2-A	2A2-B	2A2-C	2A2-D	2A2-E	2A2-F
11:00	OS-07 日本生活支援工学 会誌優秀論文セッ ション	OS-26 支援機器の ヒューマン セントリック デザイン 2	OS-24 医療・介護・ 福祉分野に おける デジタル技術 の浸透 2	OS-13 理学療法分野 における工学 技術の応用と 期待	OS-28 運動・技能の アシスト・ トレーニング	OS-04 リハビリテー ションにおける 接触低減の 支援
12:00	行政情報共有 セッション					学生交流 セッション
13:00						
13:15	特別講演 動物たちと 人間たちの共生 —動物園にみる ウェルビーイング					
14:00						
15:00	3学会合同 シンポジウム コロナ禍・ ポストコロナの 支援機器関連領域 —情報共有と未来—					
16:00						
16:45	2P1-A	2P1-B	2P1-C	2P1-D	2P1-E	2P1-F
17:00	OS-15 高齢者を支える 技術と ELSI	GS-08 支援機器の 開発	OS-30 障がい者の 生活の多次元 モニタリング の試み	GS-09 VR・AR	OS-05 看護と工学	GS-10 バイオセンシ ング・イメー ジング・マニ ピュレーション
18:00						
19:00						

3日目 8月21日(日)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
8:30	3A1-A	3A1-B	3A1-C	3A1-D	3A1-E	3A1-F
9:00	OS-18 AI技術×ポジティブヘルス増進による高齢者の社会的つながり創発モデルの実証	OS-31 3Dプリンタを用いた立体教材の制作	OS-22 生活の質を高める支援機器	OS-19 一人に一台 一生寄り添う スマートロボット	GS-11 医療機器・医用システム	GS-12 歩行の支援
10:00						
10:15	研究助成の成果報告会	3A2-B	3A2-C	3A2-D	3A2-E	3A2-F
11:00	生活支援工学に資する研究・実践に対する研究助成の成果報告会	OS-17 顎口腔機能に関する先端技術	OS-21 介護サービスにおけるテクノロジーの導入と普及	OS-12 ムーンショット研究が描く2050年の福祉・介護のカタチ	OS-03 呼吸マネジメント×シーティング 一人と機器との関係	OS-09 センサを使った歩行計測に関する標準
12:00						
13:00	シンポジウム					
14:00	ウェルビーイングを目指す看護学と工学の連携 ー工学に期待すること					
14:45	3P1-A	3P1-B	3P1-C	3P1-D	3P1-E	3P1-F
15:00	OS-11 足と歩行の生活支援工学	OS-16 障害者に配慮した大学レベルの理工系教材	GS-13 AI	OS-10 生活期リハビリテーション	GS-14 筋・動作	GS-15 細胞工学・組織工学
16:00						
16:30	3P2-A	3P2-B	3P2-C	3P2-D	3P2-E	3P2-F
17:00	GS-16 歩行の評価	OS-25 大学で使用するLMSのアクセシビリティに影響する要因の分析ーLMS、教員、障害学生に対する実態調査	GS-17 高齢者	GS-18 車椅子	GS-19 訓練支援	GS-20 生体数値解析
18:00						